

令和 3 年 3 月 22 日

報道各位

国立循環器病研究センター

循環器病予防のためのおいしい減塩食レシピコンテスト

「第 5 回 S-1g (エス・ワン・グランプリ) 大会」を開催します

※ “Salt (塩) を 1 食 1g 減らそう (-1g)” を表したものです。

主催  国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center

× 共催

 国立研究開発法人
医薬基盤・健康・栄養研究所
National Institutes of
Biomedical Innovation, Health and Nutrition

国立循環器病研究センター(以下、国循)と医薬基盤・健康・栄養研究所(以下、医薬健栄研)は医療や健康分野における課題解決などを加速するために、連携協定を結びました。本提携による活動の一環として、国循と医薬健栄研の共催で循環器病予防を目的とした“おいしく・”減塩”のお弁当レシピを全国規模で発掘するコンテスト「第 5 回 S-1g (エス・ワン・グランプリ) 大会」を開催します。

おいしい減塩食の普及を図るかるしおプロジェクトでは、国循の病院食を起源とする「かるしおレシピ」本、おいしい減塩食品市場展開を促進させる「かるしお認定制度」、そしておいしい減塩食をみんなで考える S-1g 大会など、さまざまな事業・啓発活動を行っています。第 5 回 S-1g 大会では「みんなが作りたくなるような見た目も楽しめるおいしい減塩のお弁当」をテーマに 2021 年 5 月 10 日からレシピを募集します。

■実施の背景

循環器疾患(心疾患・脳血管疾患・高血圧など)の予防や治療の予後にはまず食塩の摂取量を減らすことが必要です。世界的にみても日本人の平均食塩摂取量は 1 日当たり約 10g と未だ高く、死因の第 2 位が心疾患となっています(2019 年人口動態統計より)。

さらに、昨今の新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響は大きく(かるしお HP インターネット調査より)、我が国では緊急事態宣言以降、間食が増えた者が最も多く、調理済みの食品の利用が 5 割以上であったことから示唆されるように、摂取栄養素の偏りが懸念されます。我が国は世界の中でも自然災害のリスクが高く、災害時・緊急時(パンデミック含む)の食事においても食塩やエネルギーをコントロールした食事をとることは容易ではありません。また、2021 年は東日本大震災から 10 年目を迎え、節目の年でもあります。過去の災害をふり返り、日頃から利用している保存のきく食材を、災害時・緊急時のために少し多く備えて、使った分だけ新しく買

い不足循環備蓄（ランニングストック、ローリングストック）に慣れていただくことも大切です。

第5回となる本大会では、持ち運び可能なお弁当で、いつでもおいしい減塩食が食べられるレシピを考案する機会を創出するために、全国からお弁当レシピを公募します。一般・学生部門だけではなく、災害栄養部門を新たに設けました。また、北大阪健康医療都市（愛称：健都）での市民による投票を行うなど、地域と連携した取組も進めていきます。

■「第5回 S-1g（エス・ワン・グランプリ）大会」概要

- ・主催：国立循環器病研究センター
- ・共催：医薬基盤・健康・栄養研究所
- ・募集部門：一般部門、学生部門、災害栄養部門
- ・応募期間：2021年5月10日（月）～2021年7月9日（金）正午まで
- ・応募特典：抽選200名にかかるしおランチボックスをプレゼント
- ・1次選考（書類審査）：2021年9月上旬
- ・最終選考（実技審査）：2021年12月18日（土）
（※新型コロナウイルス感染症対策に十分に配慮した上で実施いたします）
- ・会場：大阪ガス ハグミュージアム（大阪府大阪市西区）
- ・受賞レシピ特典：賞金（最高20万円）授与、国循HP掲載、グッズ授与など

※この報道資料は、大阪科学・大学記者クラブの皆様にお届けしています。

【報道機関からの問い合わせ先】

国立循環器病研究センター（代表）06-6170-1070
総務課広報係（内線 31120） 木下・福田